

プログラミングと問題解決

情報 I 第38回授業

05コンピュータとプログラミング

対応ファイル: 23exp36.xlsx (前々回)

実習 乱数で「何か」を作ろう

- 乱数と、判断分岐または繰り返しの機能を使って、「何か」のプログラムを「グループで最低1つ」作ろう。
- 楽しいもの、役に立ちそうなもの、など、何でもOK。
- 意味がわからないものはダメ。誹謗中傷も厳禁！！
- グループ作業です。グループ内はたくさん助け合ってください。
ただし、この時間はグループ以外の人と相談するのは禁止！
- グループメンバー全員が、同じプログラムを再生できるように打ち込み作成しておいてください。
- 本日残り時間が作業時間です。次回は発表です。
CUI(TeraPadとAnaconda)で実行できるように準備をしてください。

次回に向けて

- 次回は、始めの5分間を準備時間とします。
- その後、バラバラに組み替えられた「発表グループ」に分かれ全員がデモンストレーションを行います。
- デモンストレーションは、自分のPCに他のメンバーを招き、Anacondaから実演と、TeraPadを見せてプログラムの説明を行います。
- 作成グループ全員が、同じデモンストレーションや説明をできるように、準備と共有を進めてください。